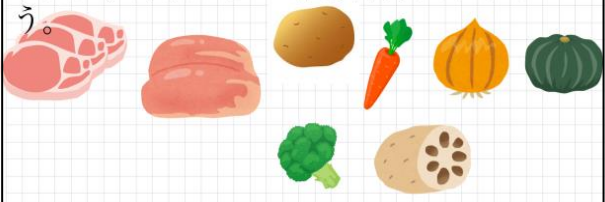


1 「といてみたい」「考えてみたい」～意欲を高める学習課題の提示

<テーマ> 学習課題を自分のこととして捉えさせる取組（気仙沼市立気仙沼小学校）

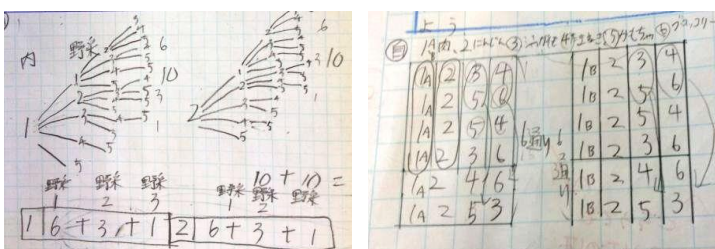
【取組の概要】

児童の生活の中で算数が生かされる場面を問題として提示し、課題解決の必要感をもたせる。

主な学習過程	発問・指示 児童の活動
<p>1 問題場面をつかむ。</p> <p>自分たちが企画する「卒業感謝の会」の場面を取り上げ、学習内容と結び付ける。</p>	<p>T「3月に行う卒業感謝の会で、みんなでおうちの人たちにカレーを作るんだったよね。そろそろ材料を決めようと思うんだよね。」</p> <p>C「どんなカレーにするか気になってたんです。」</p> <p>T「先生ね、材料として買いたい物をメモにしてきたの。豚肉、鶏肉、ジャガイモ、ニンジン、玉ねぎ、かぼちゃ、ブロッコリー、・・・」</p> <p>C「え？そんなにいっぱい？」</p> <p>T「でもね、この中から選んで使いたいと思うのよね。そこで・・・」</p>
<p>2 解決に向けて意見を交流する。</p> <p>ぶた肉、とり肉、ジャガイモ、ニンジン、玉ねぎ、かぼちゃ、ブロッコリー、レンコンの中から5種類の材料を使うと、何種類のオリジナルカレーができるか、全部挙げましょう。</p> <p>ただし、ぶた肉かとり肉かのどちらかを必ず入れ、野菜からは4種類取り入れましょう。</p> 	<p>C「材料がいっぱいあって簡単には考えられないね。」</p> <p>T「どんなことに気を付けたらいいかな？」</p> <p>「落とさないように全部数えるのは大変そう」</p> <p>「野菜と肉は別々に考えた方がいいかな」</p> <p>「同じ組合せを数えないように・・・」</p> <p>「樹形図をかいたら整理できるかな」</p> <p>「樹形図よりも表の方が分かりやすいと思うよ」</p> <p>今までの学びを生かせそうだという確認をし、解決の見通しを持たせるようにする。</p>
<p>3 学習課題を設定する。</p> <p>学習課題は児童の言葉を生かして設定し、提示する。</p>	<p>卒業感謝の会で作るオリジナルカレーを、今までの学習を生かして全種類考えよう！</p> <p>T「みんなが考えたカレーは実際に作るからね？頑張っておいしいのを考えてくださいね。」</p>

【取組の成果】

○課題を自分のこととして捉え、これまでの学習（表や樹形図を使って落ちや重なりがないように整理すること）を生かして、主体的に学習に取り組むことができた。



「感謝の会」では実際にカレーを作り、課題解決の達成感と共においしく味わうことができた。

